

令和4(2022)年度 事業報告

2022年4月 1日から

2023年3月31日まで

一般社団法人 日韓経済協会

目 次

I. 総会	-----	1
II. 理事会	-----	2
III. 諮問委員会	-----	3
IV. 日韓経済人会議	-----	4
V. 日韓新産業貿易会議	-----	6
VI. 青少年交流事業	-----	7
VII. 調査・広報活動	-----	12
VIII. その他事業及び出来事等	-----	14
IX. 会員異動	-----	16

I. 総 会

A. 第10回定時社員総会

第10回定時社員総会は2022年6月28日、東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館5階パールルームで開催された。定款規定により佐々木幹夫会長を議長に選出した後、下記議案を審議の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

1. 日 時 2022年6月28日(火)
開 会 午後3時00分
閉 会 午後3時35分
2. 場 所 東京都千代田区大手町1-3-2
経団連会館 5階 パールルーム
3. 正 会 員 総 数 61名
4. 出 席 正 会 員 数 47名
(内 訳)
正会員出席者 14名
委 任 状 33名
5. 議 事
決議事項
第1号議案 令和3年度事業報告承認の件
第2号議案 令和3年度収支決算報告承認の件
第3号議案 公益目的支出計画実施報告承認の件
第4号議案 令和4年度事業計画及び収支予算承認の件
第5号議案 理事選任承認の件
6. 報 告 事 項
(1) 諮問委員会副会長及び理事委嘱の件
(2) 顧問委嘱の件

Ⅱ. 理 事 会

A. 令和4年度第1回理事会

1. 日 時 2022年6月10日(金)

2. 議 案

第1号議案 第10回定時社員総会開催の件

第2号議案 第10回定時社員総会付議事項承認の件

(1) 令和3(2021)年度事業報告(案)

(2) 令和3(2021)年度収支決算報告(案)

(3) 公益目的支出計画実施報告(案)

(4) 令和4(2022)年度事業計画及び収支予算

(5) 理事選任の件

第3号議案 顧問推薦承認の件

B. 令和4年度第2回理事会

1. 日 時 2022年6月28日(火)

2. 議 案

第1号議案 副会長及び常務理事選定の件

C. 令和4年度第3回理事会

1. 日 時 2022年12月5日(月) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 顧問推薦承認の件

D. 令和4年度第4回理事会

1. 日 時 2023年3月27日(月) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 2023年度事業計画(案)の件

第2号議案 2023年度収支予算(案)の件

報告事項 相談役退任の件

Ⅲ. 諮問委員会

第9回 諮問委員会

- | | |
|----------|--|
| 1. 日 時 | 2023年3月16日 (木)
17:00～19:00 |
| 2. 場 所 | 三菱クラブ |
| 3. 出 席 者 | 諮問委員会理事会社 3社 |
| 4. 議 題 | 協会及び財団の活動報告
(1) 第22回日韓新産業貿易会議
第54回日韓経済人会議 (ビデオ上映)
(2) 青少年交流・地域間交流
(3) 日韓交流おまつり2022 in Tokyo
(4) インターンシッププログラム
(5) 次世代 ICT 経営者交流
(6) 日韓財団30周年 (ビデオ上映)
(7) その他 (直近の状況、事務所移転など) |

IV. 日韓経済人会議

第54回日韓経済人会議を5月30日、東京（ホテルオークラ東京）と韓国・ソウル（ロッテホテル）をオンラインで結んで開催し、日本側は佐々木幹夫団長以下116名、韓国側は金鉦団長以下163名が出席した。コロナ禍により3年連続してのオンライン開催となったのは残念であったが、スクリーンを介して両国の経済人が向かい合い、忌憚のない意見を交わすことができた。韓国で新たに就任した尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領による「日韓関係を最も良かった時代に戻す」との発言など、今後、両国政府による対話が進むことが期待されるなか、前向きで建設的な意見が多く出された。ご協力をいただいた関係各位に厚く感謝申し上げます。

日時・会場：2022年5月30日（月） web 開催

（東京会場）ホテルオークラ東京 プレスレジタワー 1F 平安の間

（ソウル会場）ロッテホテル小公洞 2F クリスタルボールルーム I+II

テーマ：「日韓経済連携の新たなステージ」

13:30～14:30 開会式

団長挨拶 □日本：佐々木 幹夫

日韓経済協会 会長

日韓産業技術協力財団 理事長

■韓国：金 鉦（キム・ユン） 韓日経済協会 会長

韓日産業技術協力財団 理事長

来賓挨拶 □日本：岩田 和親

経済産業大臣政務官

■韓国：安德根（アン・ドクン） 産業通商資源部 通商交渉本部長

□日本：額賀 福志郎 衆議院議員、日韓議員連盟会長

■韓国：姜昌一（カン・チャンイル） 駐日本国大韓民国特命全権大使

14:30～15:10 基調講演

□日本：岡 素之

日韓経済協会副会長、住友商事(株)特別顧問

■韓国：具滋烈（ク・ジャヨル） 韓国貿易協会会長、LSグループ議長

15:10～15:20 日韓新産業貿易会議の報告・提言

□日本：池田 正己

日韓経済協会副会長

(株)ホテルオークラ東京 取締役会長

15:40～17:25 全体会議

コーディネーター 是永 和夫

日韓経済協会 顧問、成蹊大学 監事

□日本：上田 勝弘

日韓経済協会副会長、大垣精工(株)取締役会長

「日韓関係に学ぶ（江戸時代の外交官）雨森芳州の精神」

■韓国：李京相（イ・キョンサン） KAIST（韓国科学技術院）教授

「COVID-19以降の未来 グローバルバリューチェーンのパラダイム変化」

□日本：佐藤 利宣

SJC 理事長、韓国三菱商事(株)代表理事社長

「日韓共同でのエネルギー事業の実現に向けて」

■韓国：朴基兌（パク・キテ） 大韓商工会議所 責任研究員

「日韓経済界レベルの協力：日韓若年人材プラットフォームの構築」

17:35～17:45 閉会式

【 共同声明 】

第 54 回 日韓経済人会議

THE 54th. JAPAN - KOREA BUSINESS CONFERENCE

----- 2022. 5. 30 TOKYO, JAPAN / SEOUL, KOREA -----

「 日韓経済連携の新たなるステージ 」

第 54 回日韓経済人会議を 2022 年 5 月 30 日に日本国東京都にて、大韓民国ソウル特別市とオンライン接続して開催し、日本側は佐々木幹夫団長以下 116 名、韓国側からは金鉦団長以下 163 名が参加した。

1969 年以来、一度も中断することなく続いてきた日韓経済人会議が、今回、54 回目を迎えた。厳しい状況が幾度もありながら、交流の灯を守った諸先輩に感謝を申し上げたい。今もなお、日韓の間には解決が簡単ではない問題がいくつも横たわり、厳しい両国関係により一部は経済活動にも影響を及ぼしている。最近、両国間で「これ以上の関係悪化は放置できない」という認識の共有とともに、関係改善に向けた動きが出てきたことを、両国経済人は歓迎する。

世界中に大きな苦痛をもたらした新型コロナウイルスも安定局面に近づき、希望が見えてきたことを喜ばしく思う。自由に往来できる日も遠くないものと期待したい。一方、世界経済を取り巻く環境は、ウクライナ戦争とこれに伴う国際的な経済制裁によって不透明さを増している。厳しい状況においてこそ、両国の協力、連携が危機を克服する力となる。

このような共通認識の下、「相手の立場に立って考え（易地思之）」、「経済人自ら取り組む」との新産業貿易会議の提言を踏まえつつ、以下のとおり合意した。

- 記 -

1. 経済連携の拡大

国土が狭く資源が乏しいという点で両国を取り巻く環境は類似し、環境やエネルギー、脱炭素、少子高齢化など共通する課題が多い。さらには、世界情勢やポストコロナなどめまぐるしい変化の中にあっては、両国の連携や協力、分担などが一層重要となる。第三国におけるプロジェクトの拡大を含め、エネルギー安全保障等、日韓経済人は積み重ねてきた信頼とパートナーシップのもと積極的に力を合わせる。

2. 相互交流の増進

日韓の経済人は、この「日韓経済人会議」を含む様々なチャンネルを通じて交流を深め、信頼を築き、ともに協力し、世界を舞台に成果を上げてきた。未来に向けて一層広げていくことをめざし、幅広い経済交流とともに、青少年や次世代などの人材交流、「日韓交流おまつり」などお互いの距離を縮める文化交流といった交流に取り組む。

3. 政府への期待

政府間の対話が進展し、両国の経済人が安心して自由に経済活動が行えるようになることを期待する。なお、次回の第 55 回日韓経済人会議は、2023 年に韓国において開催する。

2022 年 5 月 30 日

日本側代表団団長 佐々木 幹夫

韓国側代表団団長 金 鉦

V. 日韓新産業貿易会議

日韓経済人会議に先立って開催する専門会議として、時宜にあわせたテーマ、共通課題などについて事前に討議を進め議論を深める目的で、毎年、日韓交互に開催している。

過去3年間は延期やオンライン開催が続いてしまったが、コロナ禍が一段落したことにより、久しぶりに対面での開催をすることができた。また、日韓関係が改善に向け動き始めたことにより、これを歓迎する声とともに、良い関係が長く続くよう幅広い交流で支えていこうとの意見が集まった。

【第23回日韓新産業貿易会議】

1. 日時：2023年3月30日（木） 9:00～15:30
2. 会場：コエックス（COEX Conference Room：韓国・ソウル特別市）
3. テーマ：「激動するビジネス環境、新しい未来をともに創造」
 - (1) セッション(I)：韓日経済連携の拡大
韓国：李昌雨(イ・チャンウ) World FTA Forum 会長
「メガFTA時代の国を超えた対応戦略」
- 輸出と雇用創出を中心に、日韓協力の方策を提案 -
日本：前川 直行 日本貿易振興機構（JETRO）ソウル事務所長
「日本と韓国のスタートアップ・エコシステムの比較」
 - (2) セッション(II)：韓日相互交流の増進
韓国：千経坡(チョン・ギョンパ) WISE FOREST（株）代表理事
「韓国人の留学・就業・創業から見た日韓関係」
日本：高橋 誠 静岡県ソウル事務所長
「静岡県の地域外交 -自治体だからできること-

VI. 青少年交流事業

1. 青少年交流事業の実施状況

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」実施状況

- ① 「未来志向の日韓関係」構築の基礎である人的交流の一環として、次世代を担う若者たちの草の根レベルの交流促進を目指し、2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始した。これまで19年間で26回開催、延べ2,350人を超える交流実績となり、着実に成果を重ねて協会会員および参加学校、開催地域の理解と協力が広がりつつある。
2022年度は、新型コロナウイルス蔓延の影響により、合宿形式の高校生交流キャンプの開催を見送った。
- ② 運営面では2006年度から2007年度までは、本事業の趣旨に賛同いただいた6社・団体の協賛金・助成金により運営し、2008年度から2011年度までは、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業(JENESYS:2007年度から2011年度の5年間実施)」に登録され、(公財)日韓文化交流基金 委託事業の形態で資金を得て運営した。2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、これまで通り参加費無料で運営した。2013年度から2019年度までは、JENESYSの後継として実施された「JENESYS2.0」の一環として、毎年(公財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格し、その業務委託金と韓国産業通商資源部の支援金を合わせて運営、2015年度からは、業務委託金と支援金の他、参加者から10,000～30,000円の参加費を徴収して運営している。
- ③ 2019年度からは(一財)日韓産業技術協力財団の助成を得るスキームとし、事業継続のための財源安定化を図っている。

(2) 「日韓学生未来会議」実施状況

- ① 高校生交流キャンプ参加後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的に日韓両国でOB・OG会(JKSFF/KJSFF)を発足させ、2006年度から活動を始めた。日韓各々の団体が勉強会・討論会・交流会等の開催、高校生交流キャンプへの運営ボランティア参加、他機関が開催する交流行事への参加や情報交換等、毎年活発な活動を行っている。

- ② 両国のOB・OG会活動の最大の交流事業として、両国学生が毎年、日韓に関わるテーマを一つ決め、事前学習・発表・討論を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に開催している。2022年度は「日韓伝統文化の現代に合わせたアレンジを通じた交流案」をテーマに、日本側(16名)は合宿先の金沢で韓国側(20名)とオンラインで結び開催した。当協会では、学生の自主性を尊重しつつも、安全かつ効果的に会議を実現するため、交流会の企画・運営に関して積極的に助言し、渡航・滞在等の支援を行っている。
- ③ 高校生交流キャンプと同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

2. 青少年交流事業の実施実績

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
(第10回～第18回、第20回～第26回)
- ・主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- ・後援：外務省、国土交通省
韓国産業通商資源部
- ・開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側参加者	韓国側	参加者計
第1回	日本・東京	2004年1月16日～20日	62人(4校)	50人	112人
第2回	日本・東京	2004年7月26日～30日	20人(10校)	52人	72人
第3回	韓国・ソウル	2004年8月18日～22日	46人(7校)	48人	94人
第4回	日本・東京	2005年2月11日～15日	64人(19校)	54人	118人
第5回	日本・東京	2005年8月6日～10日	44人(17校)	46人	90人
第6回	日本・東京	2006年2月9日～13日	59人(17校)	47人	106人
第7回	韓国・ソウル	2006年8月4日～8日	38人(16校)	49人	87人
第8回	日本・幕張	2007年2月9日～13日	42人(17校)	38人	80人
第9回	日本・東京	2007年8月5日～9日	34人(20校)	41人	75人
第10回	韓国・一山	2008年2月10日～14日	46人(17校)	39人	85人
第11回	日本・東京	2008年8月3日～7日	44人(25校)	44人	88人
第12回	韓国・ソウル	2009年2月1日～5日	50人(34校)	50人	100人
第13回	韓国・龍仁	2009年7月28日～8月1日	44人(31校)	44人	88人

第14回	日本・大阪	2010年2月2日～6日	39人(24校)	49人	88人
第15回	韓国・ソウル	2010年8月3日～8月7日	50人(40校)	49人	99人
第16回	韓国・ソウル	2011年2月8日～2月12日	50人(39校)	50人	100人
第17回	韓国・ソウル	2011年8月2日～6日	49人(44校)	47人	96人
第18回	日本・大阪	2012年1月31日～2月4日	50人(32校)	50人	100人
第19回	韓国・ソウル	2012年7月24日～28日	50人(40校)	50人	100人
第20回	日本・大阪	2013年7月28日～8月1日	50人(39校)	50人	100人
第21回	日本・川越	2014年7月27日～7月31日	50人(39校)	50人	100人
第22回	韓国・ソウル	2015年7月27日～7月31日	40人(34校)	40人	80人
第23回	日本・南三陸 &仙台	2016年7月29日～8月3日	40人(31校)	40人	80人
第24回	韓国・平昌	2017年7月24日～7月28日	40人(34校)	40人	80人
第25回	日本・広島	2018年7月29日～8月2日	40人(34校)	35人	75人
第26回	韓国・ソウル	2019年8月5日～8月9日	30人(30校)	30人	60人
延べ参加人数			1,171人	1,182人	2,353人

(2) 「日韓学生未来会議」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
(第3回～第6回及び第9回～第10回)、その他の回は自主開催
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・幕張	2007年2月9日～12日	14人	10人	24人
第2回	韓国・ソウル	2008年2月12日～16日	6人	15人	21人
第3回	日本・東京	2009年2月9日～13日	17人	16人	33人
第4回	韓国・釜山	2009年8月3日～7日	20人	20人	40人
第5回	日本・京都	2010年8月9日～13日	17人	20人	37人
第6回	韓国・ソウル	2011年8月8日～12日	17人	19人	36人
第7回	韓国・ソウル	2012年8月6日～10日	14人	14人	28人
第8回	日本・大阪	2013年8月6日～10日	14人	15人	29人

第9回	韓国・大田	2014年8月5日～9日	14人	14人	28人
第10回	韓国・ソウル	2015年8月6日～10日	12人	8人	20人
第11回	日本・福岡	2016年8月18日～22日	14人	14人	28人
第12回	韓国・龍仁	2017年8月7日～11日	21人	16人	37人
第13回	日本・長崎	2018年8月5日～10日	22人	20人	42人
第14回	韓国・釜山	2019年8月18日～23日	18人	16人	34人
第15回	オンライン	2021年2月19日～21日	14人	16人	30人
第16回	オンライン	2021年8月20日～22日	15人	16人	31人
第17回	金沢・オンライン	2022年8月8日～11日	16人	20人	36人
延べ参加人数			265人	269人	534人

(3) 「日韓青少年 Trial & Error 交流会」開催実績

- ・主催・運営：日韓経済協会 青少年交流センター、
日韓青少年 Online 交流会推進チーム
- ・使用ツール：ZOOM（オンライン会議）
- ・開催実績：

	日程	詳細日程（全員集合日）	日本側	韓国側	参加者
第1回	2020年9月4～19日	4日 OT・開会 13日 中間発表 19日 最終発表・閉会	6人	9人	15人
第2回	2020年10月17～31日	17日 OT・開会 24日 中間発表 31日 最終発表・閉会	13人	9人	22人
延べ参加人数			19人	18人	37人

(4) 「Visit & Feel JAPAN Tour」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：日韓経済協会
- ・後援：外務省、駐日本大韓民国大使館、SJC（ソウルジャパンクラブ）
- ・協力・協賛：三菱商事、アサヒビール、JTB、JKSFF・KJSFF
- ・開催実績：

	場所	日程（交流期間）	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・関東	2017年2月13～18日	交流会のみ 参加	20人	20人

第2回	日本・北海道・青森	2018年 1月30～2月4日	—	20人	20人
延べ参加人数				40人	40人

(5) 「日韓交流の広場」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	韓国・ソウル	2011年12月23～25日	73人	54人	127人
延べ参加人数			73人	54人	127人

Ⅶ. 調査・広報活動

韓国関連の情報・資料を会員宛に提供
～定期刊行物（日報・週報・月報）の発行～

1. 日報の配信

近年は韓国の新聞各社の記事が日本語版として広くネットで配信されるようになり、その種類も増加した。それらの中から最新の韓国情勢をリアルタイムに伝えるため、主として政治・外交・社会一般動向に関する情報を整理し選別した記事を日報ベースにて原則毎日メールで配信した。

（従前は韓国語新聞数紙から選んだ記事を協会にて翻訳し週報記事としていたが、昨今の情報伝達の迅速化に合わせ記事発表から近い時間内に協会が選択した動向情報を日報として配信することになっている）

2. 週報『日韓経済協会通信』の配信

韓国の政治・経済動向・経済指標統計・社会一般文化に関する情報を複数の韓国語経済週刊誌や韓国政府機関HPから選別し、それらを翻訳・編集したものを週報としてメール配信した。週報では経済関連記事を主として取りあげ、原則毎週木曜日に会員宛に送信した。

協会の客観的視点を基軸に韓国情勢をウオッチし週単位にて韓国の主要動向を情報として伝えた。

2022年度は、2022年4月7日付け第1490号から2023年3月30日付け第1534号までの45週分を発行した。

3. 月報『協会報』の発行

月刊の協会報の主な内容は次の通り。

[経済一般動向]

韓国の最新動向に沿った質量感のある関連記事を韓国で発刊される週刊の経済誌等から選択・翻訳・編集し情報として提供した。

[JKEレポート]

1カ月単位で「最近の韓国情勢」と「最近の日韓企業間の動向」を～報道日誌～として整理した。韓国メディア報道の中から選んだ日々の主要記事を整理して時系列的に掲載した。

[資料]

主要な各種の最新統計資料を韓国政府機関HP等から選択し翻訳したものを掲載した。

[協会・財団]

協会及び共に各種活動を協働している（一財）日韓産業技術協力財団の事業活動を要約日誌として報告した。協会の各種活動内容を紹介し報告した。

[その他]

主要ニュースインデックスとして政治・外交、経済、社会・文化、新型コロナウイルス、北朝鮮に類別した韓国報道の時系列目次で、各表題の記事は上記の〔JKEレポート〕に記載されている。

2022年度は、588号（2022年4月号）から598号（2023年3月号）まで月刊で計11冊を発行し、会員会社・関係団体等に郵送配布した。

なお、協会報に掲載した[経済一般動向]の過去1年間の掲載記事一覧は別添の通り。

Ⅷ. その他事業及び出来事等

1. 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 概要：職員や関係先の健康と安全を最優先に、政府・自治体の進める感染拡大防止に沿ってリモートワークの拡充や縮小を適宜実施した。
- (2) 対策：週1日の在宅勤務を継続し、出退勤のリスクに備えながらも、日常業務との整合に心がけた。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応手順に従った運用：
感染が疑われる、検査結果陽性となった場合などの対応手順に従い、感染者が発生した場合において適切に対応。
(2022年2月「職場における新型コロナウイルス感染症の対応について」)
- (4) 渡航制限緩和に合わせた出張の再開：
入国時の待機（隔離）要請期間中は出張を見あわせていたが、緩和に合わせて徐々に再開。初回は2022年8月9日に、短期商用ビザ取得、出国前&入国時のPCR検査、アプリ登録をしながら渡航した。

2. 日韓交流おまつり 2022 in Tokyo（第14回）

- (1) 概要：日韓国交正常化40周年を記念して2005年にソウルで開催され、2009年からは毎年両国（東京・ソウル）で開催している。「また会える喜び」をスローガンに、伝統芸能やK-POPなどがライブ配信され、累計で延べ11万人以上が視聴した。
- (2) 日時：令和4年（2022年）9月24日
- (3) 場所：YouTube「オンライン駐日韓国文化院」チャンネルでLIVE配信

3. 韓日交流おまつり 2022 in Seoul（第18回）

- (1) 概要：日韓国交正常化40周年（「日韓友情年2005」）を記念して開始されて以来、両国最大規模の民間交流行事に成長し、18回目を迎えた。久しぶりのオフライン開催に多くの方が来場され、日本食や日本文化を楽しんだ。
- (2) 日時：令和4年（2022年）9月25日
- (3) 場所：ソウル特別市江南（カンナム）区COEXホール

4. 新春賀詞交歓会

- (1) 概要：新たな年を迎えたことを祝い、協会会員企業のほか日本国政府、韓国大使館、関係機関などから多くのご参加をいただいた。コロナ禍により中止が続いていたため3年ぶりの開催。
- (2) 日時：令和5年（2023年）1月27日
- (3) 場所：東京都千代田区 三菱クラブ

5. 韓国政府・駐日韓国大使館

(1) 朴振（パク・チン）外交部長官との午餐会

概要：朴長官の来日にあわせて経済人との懇談の場が設けられ、佐々木会長、是永顧問が参加した。朴長官から改善に向けた意欲が示され、経済人からこれに応じて感謝と期待が伝えられた。

日時：令和4年（2022年）7月19日

場所：駐日本国大韓民国大使館 公邸

(2) 韓惠洙（ハン・ドクス）国務総理ほか韓国政府代表との午餐懇談会

概要：国葬に合わせて来日した韓国政府代表との午餐会に、佐々木会長をはじめ5名が参加した。和やかな雰囲気の中で進み、サプライチェーンやカーボンニュートラルなど具体的なテーマから次世代交流にいたるまで幅広く意見交換された。

日時：令和4年（2022年）9月28日

場所：帝国ホテル

(3) 韓国「国慶日」および「国軍の日」レセプション

概要：前年はコロナ禍により記念動画の配信として実施であったが、本年は関係者が多数集まって盛大に開催された。尹大使が開会にあたり「ワールドカップ共催など日韓友好の歴史」を取り上げ挨拶された。

日時：令和4年（2022年）10月3日

場所：ホテルニューオータニ

(4) 尹徳敏（ユン・ドンミン）駐日韓国大使歓迎会

概要：尹大使の着任を歓迎し、佐々木会長主催にて開催。佐々木会長が「日韓の経済人は長年にわたり信頼を築いてきた」、応えて尹大使が「尹大統領の関係改善への意欲」を紹介しあうなど和やかな会となった。

日時：令和4年（2022年）10月13日

場所：ホテルオークラ東京

参加者：佐々木会長、岡副会長をはじめ、日韓からあわせて20名が参加

(5) 尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領を囲んでのラウンドテーブル

概要：尹大統領の来日にあわせ経済人によるラウンドテーブルが開催され、佐々木会長他が参加した。

日時：令和5年（2023年）3月17日

場所：経団連会館

IX. 会 員 異 動

1. 入会

- | | |
|-----------|----|
| (1) 正 会 員 | なし |
| (2) 協力会員 | なし |

2. 退会

- | | |
|------------|------------|
| (1) 正会員 | なし |
| (2) 協力会員 | (退会年月日) |
| 富士フイルム株式会社 | 2022年9月30日 |
| コクヨ株式会社 | 〃 |

3. 2023年3月31日現在

正 会 員 数	61社
協 力 会 員 数	5社

以上

月刊誌『協会報』の主要標題一覧
2022年4月（第588号）～2023年4月（第598号）

〔特 集〕		〔経済一般動向〕	
2023年1月	* 令和5年 年頭所感（佐々木幹夫）	2022年4月	* 文政権の政策を覆す尹錫悦の「Yノミクス」
〔特別寄稿〕			* 尹錫悦次期大統領の経済政策分析
2022年11月	* 日韓交流おまつり2022 in Seoul		I. 「スーパー個人投資家」の市場離れ防止へ
〔JKEレポート〕			II. LTV貸出規制に着手し、DSRも緩和か
2022年4月	* 最近の韓国情勢～報道日誌～		III. 5年間に住宅250万戸を建設
2023年3月			IV. 50兆ウォンの補正予算編成に期待
〔活動日誌〕			V. 「起業しやすい国」を掲げた尹次期大統領
2022年4月	* 日韓経済協会・日韓産業技術協力財団の活動日誌		VI. 文在寅政権5年間の脱原発政策を白紙化
2023年3月			* 全経連、財界の窓口の地位回復なるか
〔経済人会議〕			* 競争力強化で世界に羽ばたくKバッテリー企業
2022年4月	* 第54回日韓経済人会議（ご案内）	2022年5月	* 尹政権の不動産政策が市場に及ぼす影響
2022年6月	* 第54回日韓経済人会議を開催		* 大統領執務室の龍山移転でGDP 3.3兆ウォン増
〔学生未来会議〕			* 進む一方の二極化
2022年8月	* 「第17回日韓学生未来会議」実施について		* ソウルを離れる人の半数は20代・30代
〔財団事業〕			* 利上げ局面で注目される韓国銀行の選択
2022年6月	* 2022 日韓IoTビジネスフロンティア交流・商談会		* 政策金利1.5%時代の幕開け
2022年7月	* 2022年在韓日系企業CSR活動支援事業		* 不透明感が増す景気、国内主要企業の設備投資は？
2022年7月	(インターン実習プログラム) オリエンテーション報告書	2022年6月	* 史上初の財界2位に躍進したSK
2022年11月	* 財団創立30周年記念式典ほか実施報告		* どうなる今後の韓国電力
2022年11月	* 第6回日韓次世代人材・チャレンジフォーラム 実施結果		* 金融持株会社の第1四半期業績
2023年3月	* 「第4回 日韓次世代ICTスタートアップ交流 ・商談会」実施結果		I. 第1四半期純利益が初の5兆ウォン突破
			II. 今年の業績見通しもバラ色、 証券会社の不振が難題
			III. 株ブーム終焉で証券・保険は業績不振
			* 新政権の金融政策のキーワードは 「貸出緩和・革新金融」
			* 尹錫悦政権発足で注目される財界の時計の行方
			* 尹政権のESGは形だけ？
			* 成長する宇宙経済、「Kスペース」の現状
			* 加徳島新空港、13兆7000億ウォンを投じ2035年開港
		2022年7月	* チョンセ市場は「嵐の前夜」…8月の大混乱が秒読み
			* 尹政権の住宅供給に警告灯
			* 上がり続ける金利
			① 物価対策は借り手にマイナス
			② 預金・積立も「高金利時代」
			③ 雪だるま式に膨らむ利子負担
			* スローレーションの恐怖
			* 緊迫するサムスン電子の動向
			…李在鎔流の超格差戦略
			* 大韓航空とアジアナ航空、統合の運命

2022年8月	*2割の家計が抱える「多重債務」	2023年2月	*韓国電力の現状
	*史上初のビッグステップ…政策金利引き上げ		*銀行融資から始まる企業の危機
	*財界は「チャイナドリーム」から「チャイナショック」		*M&Aに再挑戦する現代重工業グループ
	*ますます過熱する韓・中・日の電池競争		*新年の辞に見る今年の財界
	*危機に瀕するK造船業		*韓国経済の行方
	*韓国電力は「風前の灯」		① 経済を圧迫する不確実性、一寸先は闇
	*「小さな政府」の復活		② 急激な利上げで危惧される格付引き下げラッシュ
	I. 新自由主義の「レンズ」で見た尹政権の経済哲学		③ 半導体は不振、造船・二次電池は好調の見通し
	II. 新自由主義の分野別に見た尹政権の経済政策		2023年3月
	2022年9月		*進撃のK-防衛産業
*ポスコが発した非常経営宣言の理由		*海外に活躍の場を広げるK-建設	
*根強い「サムスン電子危機説」		(1) ベトナムの新都市建設にグループ総帥も自ら奔走	
*危機の時代、「3高」克服に向けた新経営戦略		(2) 先進市場・環境対応型事業を拡大	
I. グローバル危機で「非常経営」、財界の不安は増大		*K-バッテリーに春は来るか	
II. 不確実性の時代、大企業は投資計画見直しへ		*韓国経済の秘密兵器「111クラブ」	
III. 10大Gは1,000兆ウォン投資の約束を守れるか			
IV. 激変する経営環境、構築が急がれる新経営戦略			
2022年10月	*韓国が抱えるチャイナリスク		
	① 国交正常化から30年目に3ヶ月連続の貿易赤字		
	② 「ポスト中国市場」はどこか？		
	*石油・化学が躍進、製薬・バイオは不振		
	*ソウルのマンション取引、半数以上が値下がり		
	*家計負債に危険信号、「借金返済は放棄」		
*「スマート農業」再発見			
2022年11月	*ハンファ、大宇造船海洋を買収		
	*組織改編が迫るサムスン		
	*悪化の一途をたどる不動産市場		
	① 利上げの恐怖で不動産市場の不振は深刻化するか		
	② 逆チョンセ増加でギャップ投資家は悲鳴、ウォルセは高止まり		
	③ 増え続けるPF融資に警告灯、建設会社も苦境に		
	*米国が韓国を特例扱い、半導体規制を1年間猶予		
*危機に瀕する航空業界			
2022年12月・ 2023年1月 合併号	*製造強国コリアの崩壊		
	*輸出大国の地位が揺らぐ理由		
	*韓国の主力輸出産業15業種の分析		
	*「韓国のロッキードマーティン」を目指すハンファエアロスペース		
	*金融会社の健全性に危険信号		
	*キーワードで振り返る2022年		
	*2023年の経済大予測		
	*2023年の10大キーワード		

〔資料〕			
2022年4月	2022年2月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2022年11月	2022年9月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2022年2月の生産者物価指数（韓国銀行）		2022年9月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2022年3月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2022年10月の消費者物価動向（韓国統計庁）
	2022年3月の輸出入動向（産業通商資源部）		2022年10月の輸出入動向（産業通商資源部）
	2022年3月末の外貨準備高（韓国銀行）		2022年10月末の外貨準備高（韓国銀行）
	2022年3月の雇用統計（韓国統計庁）		2022年10月の雇用統計（韓国統計庁）
2022年5月	2022年3月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2022年12月・ 2023年1月 合併号	2022年7～9月期実質国内総生産（速報）（韓国銀行）
	2022年3月の生産者物価指数（韓国銀行）		2022年10月と11月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2022年4月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2022年10月と11月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2022年4月の輸出入動向（産業通商資源部）		2022年11月と12月及び年間の消費者物価動向（韓国統計庁）
	2022年4月末の外貨準備高（韓国銀行）		2022年11月と12月及び年間の輸出入動向（産業通商資源部）
	2022年4月の雇用統計（韓国統計庁）		2022年11月末と12月末の外貨準備高（韓国銀行）
2022年6月	2022年4月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2023年2月	2022年11月と12月及び年間の雇用統計（韓国統計庁）
	2022年4月の生産者物価指数（韓国銀行）		2022年12月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2022年5月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2022年12月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2022年5月の輸出入動向（産業通商資源部）		2023年1月消費者物価動向（韓国統計庁）
	2022年5月末の外貨準備高（韓国銀行）		2022年の年間輸出入動向（産業通商資源部）
	2022年5月の雇用統計（韓国統計庁）		2023年1月の輸出入動向（産業通商資源部）
2022年7月	2022年5月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2023年3月	2023年1月末の外貨準備高（韓国銀行）
	2022年5月の生産者物価指数（韓国銀行）		2023年1月の雇用統計（韓国統計庁）
	2022年6月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2022年10～12月期と年間の実質国内総生産（速報）
	2022年6月の輸出入動向（産業通商資源部）		2023年1月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2022年6月末の外貨準備高（韓国銀行）		2023年1月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2022年6月の雇用統計（韓国統計庁）		2023年2月消費者物価動向（韓国統計庁）
2022年8月	2022年6月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2023年2月	2023年2月の輸出入動向（産業通商資源部）
	2022年6月の生産者物価指数（韓国銀行）		2023年2月末の外貨準備高（韓国銀行）
	2022年7月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2023年2月の雇用統計（韓国統計庁）
	2022年7月の輸出入動向（産業通商資源部）		
	2022年7月末の外貨準備高（韓国銀行）		
	2022年7月の雇用統計（韓国統計庁）		
2022年9月	2022年4～6月期実質国内総生産（速報）		
	2022年7月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		
	2022年7月の生産者物価指数（韓国銀行）		
	2022年8月の消費者物価動向（韓国統計庁）		
	2022年8月の輸出入動向（産業通商資源部）		
	2022年8月末の外貨準備高（韓国銀行）		
2022年10月	2022年8月の雇用統計（韓国統計庁）		
	2022年8月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		
	2022年8月の生産者物価指数（韓国銀行）		
	2022年9月の消費者物価動向（韓国統計庁）		
	2022年9月の輸出入動向（産業通商資源部）		
	2022年9月末の外貨準備高（韓国銀行）		
	2022年9月の雇用統計（韓国統計庁）		